

小田原市中里周辺地区におけるエネルギーネットワークと低炭素交通システムのモデル化構想

～地域で創るエネルギーを生かした都市づくり、環境に優しい交通手段で誰もが「おでかけ」できる都市づくり～

代表提案者	小田原市
協同提案者	ほうとくエネルギー株式会社、小田原ガス株式会社、株式会社ダイナシティ

- 地域内の事業所や住宅などの連携により、個々の施設の省エネ化と同時に、熱や電気エネルギーのネットワークを形成して地域全体の省エネを図るとともに、地震等の災害時にも強い持続可能な街を形成する。
- バスなどの公共交通や、歩行・低炭素パーソナルモビリティにより、子供からお年寄りまで、安全な「おでかけ」の機会を創出する。

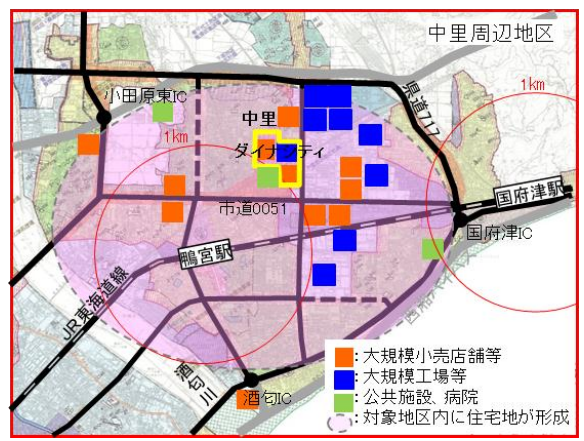
まち 住まい

LP1 エネルギーの面的利用の推進
 既成市街地の建物の設備更新や街区の更新時期を捉えた、熱・電気エネルギーの融通やネットワーク化、環境共生型スマートハウスの普及 など

第1ステップ:官民連携事業のノウハウや実績の積み上げ

商業施設 (供給者) → 熱 → 公共施設 (需要家)

第2ステップ:エネルギーの最適な利用及びBCPの確立



交通

LP2 低炭素交通システムの構築
 商業施設と連携したバス利用者への商品の割引等、新たな路線の整備、商業施設のバスターミナル化、自転車ネットワークの整備、モビリティ充電施設の整備、低炭素パーソナルモビリティの普及 など

小田原市 (事業推進 全体統括)

地域交通事業者 (事業参加) ↔ 地域商業施設 (事業参加)

新規公共交通の導入 (病院、公共交通不便地域)
 バスターミナル、路線バスへの誘導
 充電先駐車場、LEV移動、充電先駐車場
 住宅開発地等、LEVカーシェア
 自転車ネットワークの整備

利用者
 現在: 地区内専ら居住者 → 自転車、バス
 地区内専ら居住者 → 公共交通、EV
 高齢者 → バス
 将来: 自転車、バス

現在、自家用車を利用している方の特性に応じて、交通手段の最適化を図る。また、高齢者の「おでかけ」の機会を創出する。

